

日本海洋学会 2015 年度第 7 回幹事会議事録

日時：2016 年 3 月 6 日（日）13:30～18:00

場所：東京大学理学部 1 号館 843 号室

出席：日比谷会長、神田副会長、石坂、市川、伊藤、小畑、川合、河野、齊藤、鈴木、津田、東塚、山中、事務局毎日学術フォーラム（小野、平坂）

議題：

1. 審議事項

(1) 議事録承認（伊藤幹事・川合幹事）

2015 年度第 6 回幹事会議事録を承認した。

(2) 入退会について（小畑幹事・東塚幹事）

2015 年 12 月と 2016 年 1 月の入退会を承認した。1 月現在の会員数は 1730 名。

(3) 募集・推薦などの依頼（小畑・東塚幹事）

後援・協賛・公募・推薦・講演案内の依頼について、適宜 ML を通じて周知、対処を行ったことが報告され、承認された。

(4) 2015 年度決算及び 2016 年度予算案（河野・齊藤幹事）

2015 年度決算報告がなされた。会費納入率向上により会費収入が見込みを上回ったこと、JO 掲載料収入が約 140 万円だったこと、大会戻り金があったことが報告された。

2016 年度予算案を検討した。海の研究発行経費ならびに若手渡航援助を 2015 年度の予算と同額にすることとした。会誌送料について、今年度実績をもとに見直すこととなった。

(5) 海の研究交代について（市川編集長）

北出編集委員に替わる新編集委員として小橋会員が推薦され、承認した。

(6) Open Choice/Access、投稿規定への追加について（石坂編集長）

Open Choice にした場合、搭載済みの論文を後で Open にすることはできないとの説明がなされた。JO における Open Choice を開始すること、Open を選択した論文の掲載料を免除することを承認した。掲載料免除については次回評議員会での審議事項とする。ただし、著作権移動後に著者に連絡が取れない場合にはどうなるのかについて、Springer

を確認することとした。また、**Open** を選択した際の注意事項（著作権移動など）を投稿規定に記載してはどうかとの提案がなされた。

JO の投稿規定に追加する **Short Contribution** の定義について、前回提案された刷り上がり 6 ページ以内でなく、3500 単語以内、図表 5 つ以内、要旨 100 単語以内とすることが提案され、承認した。掲載料は一般と同じである。また、**Comments** とそれに対する **Reply** については、掲載料を取らないことを確認した。

(7) JO 編集委員の交代について（石坂編集長）

須賀編集委員から岡会員に交代することを承認した。

(8) インドからの特集号依頼について（石坂編集長）

インドの研究者から JO 特集セッション立ち上げについての打診があった。海外研究者による特別セッションは歓迎すべきだが、今回は掲載料免除を希望しているため、認めないこととした。

(9) JpGU への寄付の依頼について（小畑幹事）

JpGU から、国際化や地学オリンピックの共催、若手支援などの一層の推進のための寄附依頼があった。3 口分（9 千円）の寄附を承認した。次年度予算に計上する。

(10) 「海の温暖化」出版補助の依頼について（日比谷会長）

海洋学会編で出版予定の書籍「海の温暖化（仮）」の出版委員会から、出版補助の依頼があったが、費用対効果や前例などについて議論した結果、補助を行わないこととした。

(11) 2017 年度春季大会について（小畑幹事）

2017 年度以降の研究発表大会に関わる諸問題検討WGでの検討結果が報告された。2017 年度の春季大会は JpGU-AGU 合同大会に合流する形で開催するが、暫定的な措置であるため会則の変更はなく、総会は 3-5 月に開催する必要がある。この状況を踏まえて、2017 年度総会・評議員会・各種委員会を合同大会期間中に開催することが提案され、承認した。総会については評議員会で審議に諮ることとした。

総会の会場は無料で確保済みであること、総会のみに参加する場合の入場料は無料であること、委員会等の部屋については来年度予算に計上する必要があることを確認した。

授賞式は細則により総会で行う必要があるが、受賞記念講演は秋季大会においてに行うこととした。春の授賞式では受賞者に 3 分程度のスピーチをしてもらう。

春季大会開催実行委員会について、JpGU 担当幹事 2 名（うち 1 名が委員長）、研究発表担当幹事 2 名、集会担当幹事 2 名、学会選出連合プログラム編集委員 2 名により編成することとした。実行委員会設置ならびに編成を評議員会で報告する。

2017年度春季大会ではシンポジウムの応募はせず、これまで海洋学会期間中に開催されていた各種学会のシンポジウムの一部については、春季大会期間外に別のシンポジウムを企画し、関連学会に提案することとした。

(1 2) 名誉会員推薦理由書 (小畑幹事)

3名の名誉会員候補者の推薦理由書を確認し、承認した。

(1 3) 特別会員について (小畑幹事)

特別会員は本年度をもって削除することになっている(附則17)。したがって、会則第2章第6条第6項を削除し、附則22「2016年4月1日から改定された第2章第6条にもとづき、会員種別を6種とする」を加えることを承認し、総会に諮ることとした。

(1 4) 2016年度オンラインカード決済システム契約更新について (鈴木幹事)

2016年度におけるオンラインクレジットカード決済システム運営会社との契約について、1年間の契約更新を承認した。

(1 5) 2016年度秋季大会シンポジウム・ナイトセッション募集について (鈴木幹事)

秋季大会実行委員会から、3月7日よりセッション募集が開始される予定である。同時期にシンポジウム・ナイトセッションの募集を行うことを承認した。また、コンピーナーガイドラインの内容を確認した。

秋季大会実行委員会への委任状を送付することを確認した。

(1 6) 2016年度春季評議員会及び総会議事次第案 (小畑・東塚幹事)

評議員会及び総会議事次第案を確認した。会則変更やJO掲載料変更などを審議事項に加えて、次回幹事会で再審議することとなった。

(1 7) 会員情報管理WEBシステムについて (小畑幹事)

会員情報管理WEBシステムの導入が提案された。WEB上で会員本人によるデータ更新が可能となり、会員業務委託費用を抑えられることから、導入を決定した。会員名簿は従来通り紙面での発行を行うこと、ログイン用のIDとパスワードは郵送で案内されること、紙での申請も受け付けることを確認した。6月公開の予定で準備を進め、MLで会員に周知することとなった。

2. 報告事項

(1) 会長 (日比谷会長)

JpGU 理事選挙が行われ、20名の理事が決定したことが報告された。海洋学会からは2名が選出された。

(2) 庶務（小畑・東塚幹事）

春季大会で開催されるシンポジウム「海洋データ・情報管理の将来を考える」について、海上保安庁海洋情報部と日本水路協会に共催の依頼状を送付したことが報告された

(3) 編集

① JO（石坂編集長）

発行状況、投稿・受理状況、特集セクションの準備状況について報告があった。代理投稿された論文について、関係者のアカウントが混ざるといふトラブルがあり、Springerが調査・修復中であること、Discussion論文としてインターネット上に掲載されていたため却下した論文について、掲載削除申請が行われていることが報告された。

JOの論文掲載料未払いが複数あった件について、筆者に連絡を取った結果、すでにほぼ回収できたこと、現在は、編集委員長から受理の連絡をする際に掲載料についての説明文を加えていることが報告された。

② 海の研究（市川編集長）

第5巻1号を発行したことならびに次号以降の準備状況が報告された。

③ ニュースレター（津田編集長）

Vol.6第4号を発行したこと、来年度のニュースレターに会長挨拶を掲載予定であることが報告された。

(4) 研究発表（鈴木幹事）

2016年度秋季大会が9月11日～9月15日に鹿児島大学郡元キャンパスで開催されること、セッション募集が開始されることについて報告があった。

(5) 選挙（山中幹事）

日高論文賞選考委員に分野の偏りがあるため、2名の委員委嘱を予定しており、次回評議員会に諮ることが報告された。

(6) 広報委員会（代理小畑幹事）

講師派遣事業について教育問題研究会で提案書を作成中であること、春季大会の各セッションのハイライトについて、大会開始1週間前にプレスリリースを行う予定であることが報告された。

(7) 海洋環境委員会（鈴木幹事）

青い海助成事業募集を開始し、2件の応募があったことが報告された。シンポジウム等開催時の飲食費を計上してよいか問い合わせがあったことが報告され、アルコール以外の茶菓等であれば、会議費に含んでよいことを確認した。

(8) 教育問題研究会 (伊藤幹事)

春季大会でのポスターイベントで研究会の活動紹介に加えて海の教育に関わる非学会員による活動紹介を行うこと、3月19日に海のサイエンスカフェを開催することが報告された。

(9) 日本地球惑星科学連合 (日比谷会長)

5月22-26日に大会開催予定であり、JpGUとAGUのジョイントセッションが49あること、投稿数が昨年より400程度増加したこと、海洋学会関連のジョイントセッションが4つあることが報告された。

(10) 若手支援 (神田副会長)

3月8日締め切りで渡航支援の募集中であること、若手集会支援をまもなく募集開始予定であること、春季大会における若手との懇談会を16日の総会後に行うことが報告された。

(11) 小学理科第4学年新单元「海のやくわり」共同提案について (市川幹事)

提案書案が提示され、3月16日締め切りで意見とりまとめ中であること、3月23日に文科省に提出予定であることが報告された。

次回幹事会：3月14日 東京大学本郷キャンパス理学部1号館331号室 18:00～